

空手交流 in アイルランド

69期主将 竹田平祐

東北大学空手道部第六十九期主将の竹田平祐と申します。現在、東北大学大学院工学研究科修士課程一年に在籍しております。

このたびは、OB会の皆様より多大なるご支援を賜り、アイルランドにおいて空手交流の機会を得ることができました。心より厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

また、遠征の実現にあたり、さまざまな面でご尽力くださいました宇野様、佐藤監督に深く感謝申し上げます。

さらに、現地にて通訳やご案内など多大なるお力添えを賜りました内藤様にも、心より御礼申し上げます。

皆様のおかげで、貴重かつ実り多い経験を積むことができました。改めて厚く御礼申し上げます。

アイルランドでは、University College Dublin（以下、UCD）にて三度、また Martin 道場にて一度出稽古を行い、さらにアルツハイマー施設において一度演武を披露いたしました。これらの空手交流を通じて、アイルランドの方々の温かい人柄や文化に触れることができただけでなく、空手を通じて多様で貴重な経験を積むことができました。

① UCD での練習

UCD 空手道部の基本情報

部員数：30－40名ほど

練習頻度：週3（月水金）

流派：松濤館流（協会系）

特徴：多国籍（ヨーロッパ系、中東系、アジア系 etc...）、形中心の練習

私は剛柔流出身、宇野さんと佐藤監督は和道流のため、生徒として練習に参加しました。和気あいあいとしつつ真摯に練習に取り組む姿勢が印象的でした。私たちが参加した時期はちょうど新歓の時期で多くの新入生が練習に訪れていました。様々な学生と話したなかで、多くの学生が日本に興味があったり、実際に訪れていました。この3回の練習を通じて、数人の部員と仲良くなりSNSを交換したり、実際にアイルランド音楽を聞かせてもらったりすることができました。



② Martin 道場

道場の基本情報

人数：1 クラス 15-30 人ほど(子供クラスや青年クラス)

流派：和道流（和道会）

特徴：組手中心、強豪道場

青年クラス(中高生)の練習に参加しました。ヨーロッパ大会に進む選手や目指す選手が多く、空手のレベルも高かったです。練習内容は組手の基礎を中心で自由組手を3本ほど行い、最後に移動基本などを行いました。UCD も Martin 道場も皆礼儀正しく、武道の精神までしっかりと根付いていることを感じました。





③ アルツハイマー施設での演武

アルツハイマー施設で 30 分ほどの演武を行いました。

最初 3 人で基本を披露した後、宇野さんのナイハンチ→佐藤監督のピンアン 4 段→私のクルルンファ・スーパーリンペイを披露しました。

当施設にいる方や職員の方々の中に空手を見たことがある人はいなかったので、日本武道・文化を知っていただく良いきっかけになれたと感じています。



アルツハイマー施設の職員の方々との写真

④ その他アイルランドでの思い出

・マキさん宅で食事会

内藤さんの友人のマキさんに夕食をふるまっていただきました。アイルランドの家庭料理を実際に食べられる最高の機会でした。外食とはまた違う、アイルランドの日常の味を体感することができてよかったですし、本当においしかったです。

・Pub でアイルランド音楽の生演奏

UCD で仲良くなったオーガストさんがパブでアイルランド音楽を演奏していると聞いたので聴きに行かせてもらいました。陽気な音楽が多く、楽しい空間が演出されていました。アイルランド音楽とアイルランドのパブの雰囲気を体験できる非常に良い機会でした。

・その他観光

世界遺産のニューグレンジや北アイルランド、ベルファストに行きました。また、首都のダブリン、滞在していた町ドロヘダを散策しました。

アイルランドは景観を守るために建物が法規制されていることもあります、本当に街並みが綺麗でした。



食事会@マキさん宅



アイルランド音楽鑑賞



世界遺産 ニューグレンジ



ドロヘダの街並み